



## 第2回SGH講演会の報告です。

### ◇ 第2回SGH講演会 『未来への種まき』 栗山圭介氏 11月19日(火)

1、2年生を対象にSGH講演会が行われました。今回はイベントプロデューサー・小説家の栗山圭介氏にお越しいただきました。

県内外で活躍されているご経験から、地元を知り地元自慢ができるようになることの大切さ、人の考えを聞いて取り入れ、自分の考えをアップデートしていくことの意義などについて、熱いメッセージをいただきました。また、AIの活用が進む社会での人間の役目とは何か、今後そのような社会に出ていく生徒たちが今学ぶべきことは何かというお話もありました。地域活性化、部活動、勉強、夢の見つけ方、自分との向き合い方など、多くのトピックについてお話いただいた充実した講演会でした。

講演後には、栗山氏を囲んでの座談会が行われました。座談会に参加したメンバーからだけでなく、全校生徒からも積極的に質問が投げかけられました。



栗山圭介氏

### 生徒からの質問

- ◇吹奏楽部に所属しているため定期演奏会があるが、そこでの発表の仕方に行き詰まりを感じることもある。そのような場合の解決方法について、プロデューサーとしての視点で教えていただけることはないか。
- ◇演劇部に所属しているが、劇中で、自分の言葉ではない言葉を観客に伝えることに難しさを感じる。どのように工夫したらよいか。
- ◇自己肯定感を高める、自分に自信を持つにはどうしたらよいか。
- ◇小説家になろうと思ったきっかけは何か。
- ◇栗山さんがここにいるきっかけになった人の存在について教えて欲しい。
- ◇将来モノを書いて生きていきたい。小説家は、人に評価されないと成り立たない職業である。ある意味では芸術とも言える表現の世界において、野心を持つことについてどう思うか。
- ◇人が期待する自分になろうとして、自分を見失ってしまうことがある。どうしたらよいか。

## 生徒の感想

◇私は「努力は夢中に勝てない」という言葉が一番心に残った。最近、進路を考える上で自分がやってみたいこと、やりたいことを貫き通すのか、経済的なこと、将来安定した職に就けるかどうかで大学を選ぶのか悩んでいる。また、そのことについて、親や祖父母、学校の先生や友達の意見を聞くことも多くなってきているが、自分の意思を否定されることもあるし、応援されることもある。今回の講演を聞いて、本当に自分がやりたいことをやってハッピーな人生を送りたいと強く感じた。やりたいことは見つかったので、目標を達成するためにこれからの日々を大切にしていきたい。



◇社会に出たときに、岐阜県以外の人たちと交流するので、そのときに自分のふるさとの良さを自分の言葉で伝えられるようにすべきだという意見に共感した。その能力を養うためには、18歳までに自分の地元と密接に関わっていくことが大事で、大人が設定したふるさとの交流機会にただ参加するだけでなく、もっと自主的に自分がふるさととどのように交流したいのかという気持ちがまず大切だと思った。また、そのように自主性をもって行動に移したが、上手くいかないことを「苦勞」と言い、何も準備せずに失敗しただけでは「苦勞」とは言わない。その価値ある苦勞をもう一度見直して、改善していくことが重要だと思った。

◇今まで勉強は色々なものを我慢して取り組むものだと思っていただけ、今回の講演を聞いて、勉強することはもちろん大切だし、これから生きていくためには重要なことだけど、だからといって他にやりたいことがそのせいで抑制されてしまうのは良くないことだと知りました。確かに、勉強ばかりやって社会に出ると、たくさんを経験して社会に出るとでは全然違うと思うし、生きる楽しさも全然違うだろうなと思いました。やりたいと思ったこと、夢中になれたことは、我慢せずに、自分の強みにできたらいいなと思いました。

◇一番印象に残ったのは、失敗をすることで自己肯定感が生まれていくというところで、自分でもそう思うところがあるので共感できた。失敗をすることによって失敗の質が上がっていくし、成功することは簡単じゃないけれど、そこに向かっていく途中に意味があることを知った。それと、かけがえのない人はわざわざ作るものじゃなくて、自然にできるものだという話を聞いて、大切にしなければいけないなと思った。

◇「大切な今を生きること、大切な過去ができ、自信が持てる」という言葉が一番印象的でした。落ち込んだとき、自分の努力が報われないと感じたときは、中途半端に考えず希望に変える。それによって、結果が未来につながるヒントとなり、未来がプラスの方向性になり、未来の自分を変えることができると知り、何事にもチャレンジしてみることが未来の自分につながるのだと思いました。自分の考えを持ちつつ、他人の考えも頭に入れ、思考範囲を広げる。積極的に自分の意見を人に聞いてもらう。こういうことも全て含め、過去・今・未来へとつながるのだと感じました。



- ◇もうすぐ関市 70 周年。この先、関市を戻ってきたくなるような素敵な町にするには、町を思う力をつなげていくことが大切です。自分以外の他人の意見をよく聞き、良かったところを自分に取り入れてアップデートしていくことで、さらに自分を磨くことができる。この先、大切にしていくことは、たくさん人と交流すること、中途半端にめげずにどん底まで落ち込み反省すること、チャレンジして得る苦勞を防ぐためにさらに努力をすることの 3 つだということがわかりました。意味のある失敗をしていきたいです。
- ◇「関市は何もないところだ」などと考えたりせず、自ら良いところを見つけ出して、その喜びや達成感を得ることで、高校を卒業したあと、そこを出たとしても出なかったとしても、胸を張って、自信をもって行動ができるようになるのだと思いました。来年は「関市 70 周年」ということで、私も何らかの形でイベントなどに参加して、「ずっと居たい町、戻ってきたい町」と、地元の人にも、移住してきた人にも思ってもらえるようにしたいなと思いました。
- ◇いろんなことにおいて、喜ぶにも悲しむにも中途半端にしない方がいいとおっしゃっていて、自分は最近、飛び跳ねるほど嬉しいことも、1 日立ち直ることができないほど悲しいこともないなって思えて、ひとつひとつのできごとをもっと濃くできたらいいなと思いました。そうしたら「今」の一瞬がもっと大切になって、それが重なって、いつか自分を振り返ったとき充実した人生だったなと思えるのだろうなと感じました。「未来への種」は、そういうことだと解釈しました。
- ◇今回の講演会で特に印象深かった言葉は「将来後悔しないために、今やりたいことを我慢するな」という言葉です。私はよく家族から、「将来のために、今やりたいことは我慢なさい」と言われます。だから、逆のことを言われて少し衝撃を受けました。これからは、どちらかだけを取る、どちらかは必ず捨てなければならない、という思考を考え直し、少しでも実のある、楽しい生活を過ごしていきたいと思いました。栗山さんの声には自信がみなぎっていて、自分の一貫した考えを持っていることが伝わってきて、私も栗山さんのように、人生を歩んでみたいと思いました。今日の講演会では、とてもポジティブな気持ちになれました。
- ◇今日の講演を聞き、今を大切に行きたいと思った。栗山さんは、自分の体験をもとに、さまざまなお話をしてくださいました。「向かうべき先を見失わない」。この言葉に心を打たれました。これから、人生を大きく分ける受験に向けて、大切な言葉をいただきました。
- ◇栗山さんの話を聞いて、失敗を恐れないことの大事さを知りました。人生には成功より失敗の数の方が多くて、失敗すればするほど失敗の質は上がっていくことがわかりました。私は何か挑戦するとき、絶対に失敗を恐れてしまいます。また、失敗するとすごく落ち込んで、自分に自信が持てなくなります。だけど、栗山さんの話を聞いて、失敗は自分を肯定するためのプロセスで、そのプロセスをたくさん経ることで、失敗しない自信を持てる自分につながるということがあったので、これからはいろいろなことに挑戦して、たくさん失敗していきたいです。大切な今を全力で生きて、大切な過去（自信）を作っていこうと思います。
- ◇今日の講演会で、改めて自信を持つことの大切さや、未来に向かって突き進むことの大切さを知ることができました。過去の自分に苛立って後悔ばかりしていても何も起こらないけど、明日の希望を持てば人生が楽しくなるし、新たな出来事があるかもしれないと思うから、これからは日々未来に向かって進んでいきたいと思った。また、どんな物事に対しても自信をもって行動すれば、道は開けると思った。これからは前向きに未来に進んでいきたい。

